

講演会

丸森の豊かな川が電気を生み出す!!!

# 自然エネルギーが開く未来 小水力発電の可能性を学ぶ

2011年3月の福島原子力発電所の事故は、  
広くて小さくて、美しい町、丸森で暮らす私たちに大きく傷つけました。  
原子力発電所がひとたび事故を起こせば、どれほど大きなものを失うのか、  
思い知らされる毎日です。  
けれど、見渡せば丸森の自然が織り成す豊かさは、なんら変わることなく、  
私たちを包んでくれています。  
「水とみどりの輝く町 まるもり」が、原発の電気に頼らない  
「エネルギー自給自足の町」へと舵をきることで不可能じゃないのかもしれませんが。  
丸森のはじめての電気は大正5年、清滝水力発電所からのもので、  
齋理屋敷の主であった齋藤理助さんが作りました。  
私たちも先人の智恵に学びつつ、身の丈にあった「小水力発電」での、  
地域再生の道を探ってみませんか？

2012.

9月30日(日) 午後1時30分～4時 参加費 500円

会場：舘矢間まちづくりセンター (丸森駅徒歩10分 駐車場あり)  
宮城県伊具郡丸森町舘矢間舘山字大門148-1 TEL:0224-72-2120

講師：平野 彰秀 氏 (岐阜県 NPO 法人「地域再生機構」副理事長)

「僕は自然エネルギーの普及だけを目指しているわけではありません。より重要なのは、自分たちの手で、自分たちの暮らしをつくっていくという自治の精神、石徹白(いとしろ)の人が良く使う言葉を借りれば『甲斐性』を取り戻すことです。地域の特性を生かした地産地消型の自然エネルギーが普及すれば、私たちの意識が変わる。」

\*\* 足るを知る社会へ 地産地消の電力が自治再生のカギ \*\* (朝日新聞2012・5・29オピニオンより)

○1975年生まれ 岐阜市出身 東京大学大学院修了後、外資系コンサルティング会社を経てUターン。  
郡上市の石徹白(いとしろ)地区地域づくり協議会事務局も担当

ご支援のお願い

100年後の明日も今日の続き・・・未来を生きる人たちにすてきな丸森を残していきたい・・・  
と企画したこの講演会。なかなか苦しい財政状況です。

趣旨に賛同し、講演会を支えてくださる方は、ご支援をお願いします。

カンパ箱設置場所・・・耕野・あがらいいん伊達屋 丸森・石井書店 筆甫まちづくりセンター  
お振込み：郵便振替口座 02200-1-112264 まるもり百年プロジェクト

お問い合わせ ☎0224-78-1916 丸森かたくり農園 北村

後援 丸森町 河北新報社  
主催 まるもり百年プロジェクト